

令和7年度防災の取組について

1 大和川氾濫等の水害に備えた取組 別紙 1

「大和川氾濫等の水害に備えた防災力強化アクションプラン（第3期）」に基づいてさまざまな取組を実施

2 備蓄物資の配備 別紙 2

- 既に配布している簡易テント、折り畳みベッド、ランタンの追加の配備
- 避難時の通信環境整備のため各避難所に新たに Wi-Fi を配備予定

3 住吉区地域見守り支援システム構築事業 別紙 3

区から提供する「災害時要援護者支援台帳」をもとに災害時の「個別支援プラン」を作成し、地域の支えあいの仕組みである「住吉区地域見守り支援システム」を構築
令和3年5月の災害対策基本法等の改正により、概ね5年（令和8年度）を目途に個別避難計画（個別支援プラン）の完成に向けて取り組み中

※令和7年4月1日時点作成済：64.3%

令和7年度作成目標：70%

4 防災関連情報に関する啓発資料の全戸配布

防災に関する知識や情報を区民に広く知ってもらうために、防災関連情報に関する啓発資料（保存版）の全戸配布を実施予定（11月頃配布予定）

前年度は災害時のマイタイムライン（別添 参考）について配布

5 マンション防災講座

マンション住民を対象とした防災研修会の実施（4回）

内容：地震・風水害の被害想定と正しい行動について

自助（非常持出品や家具転倒防止の啓発など）の取組促進

町会加入促進及び地域の訓練への参加促進

【過去の取り組み】

- 令和4年度 4回
- 令和5年度 6回
- 令和6年度 5回

6 防災訓練等の実施

(1) 防災訓練の支援（随時）【令和7年2月以降実施・予定分】

日	時間	実施主体	実施内容
R7.3.9 (日)	10時～12時	地活協東粉浜	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬式ポンプ訓練 ・人命救助訓練 ・炊き出し訓練
R7.3.22 (土)	9時30分～ 11時30分	苅田北ほほえみ協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬式ポンプ・ジャッキ・AED訓練 ・能登半島地震に伴う被災地支援報告 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.4.18 (金)	13時～14時	特別養護老人ホーム フィオレ・シニアレジデ ンス住吉	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.4.24 (木)	9時30分～ 11時30分	南住吉地域活動協議会 (南住吉女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.4.28 (月)	13時30分～ 15時	山之内地域活動協議会 (山之内地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.5.18 (日)	10時～11時	苅田10丁目地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話 ・応急手当、搬送訓練
R7.5.21 (水)	13時30分～ 14時30分	住吉区なにわ元気塾 苅田南地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.5.27 (火)	10時～15時	女性防火クラブ (全12地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災に関する訓練 (12種類)
R7.5.28 (水)	13時30分～ 14時30分	住吉区なにわ元気塾 山之内地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.5.31 (土)	19時～20時	苅田地域 防災リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムライン作成講習
R7.6.5 (木)	10時30分～ 11時30分	住吉区なにわ元気塾 長居西地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.6.15 (日)	10時～12時	東長居町会	<ul style="list-style-type: none"> ・町会本部の設置訓練 ・消防体験訓練
R7.6.15 (日)	10時～12時	清水丘三丁目北町会	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市防災センターで体験訓練

日	時間	実施主体	実施内容
R7.6.19 (木)	10時30分～ 11時30分	住吉区なにわ元気塾 長居西地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.6.23 (月)	13時30分～ 15時	東粉浜地域活動協議会 (東粉浜地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.6.27 (金)	13時30分～ 15時	遠里小野地域活動協議会 (遠里小野地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.7.2 (水)	13時30分～ 15時	墨江地域活動協議会 (墨江地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.7.8 (火)	10時30分～ 11時30分	住吉区なにわ元気塾 苅田南地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.7.30 (水)	18時～19時	遠里小野4丁目地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「災害への備え」
R7.8.22 (金)	13時30分～ 15時	依羅地域活動協議会 (依羅地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)
R7.8.26 (火)	10時～ 11時30分	長居地域活動協議会 (長居地域の女性部)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話「女性の視点で考える災害時避難所」 ・家具の固定実演(ガッタマン)

(2) 学校訓練、学校と地域の合同防災訓練の実施（随時）【令和7年2月以降実施分】

日	時間	学校、地域	実施内容
R7.6.4 (水)	13時30分～ 14時30分	墨江小学校(1～6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・消防に関する訓練(6種類)
R7.9.10 (水)	10時45分～ 11時45分	山之内小学校 山之内地域	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話 ・消防体験訓練

7 会議や研修等の実施

- (1) 災害救助部長会議の開催（年2回）
 - 1回目：7月11日（金）午後6時30分から実施予定
 - 2回目：2月から3月頃実施予定
- (2) 福祉避難所等連絡会の開催（年2回）
 - 1回目：8月27日（水）午前10時から実施予定
 - 2回目：2月から3月頃実施予定
- (3) 地域防災リーダー研修の実施（年1回）

9月28日（日）午前中実施予定（住吉消防署と合同）
- (4) 防災士養成講座
大阪公立大学 都市科学・防災研究センターが実施
 - ▶ 講座、資格取得試験：6月28日（土）、29日（日）
 - ▶ 今年度申し込み：地域推薦8名、区職員2名

（参考）住吉区内在住者の防災士認証登録者数 190名

8 上記以外の取組

- (1) 協定の締結
 - ・防災協定の締結
 - ・福祉避難所指定にかかる協定締結
- (2) 区地域防災計画、各地域防災計画の改訂
- (3) 避難所開設・運営マニュアル、避難所開設セットの改訂

大和川氾濫等の水害に備えた防災力強化アクションプランにおける取組内容

(1) 浸水想定、避難所情報、避難行動の目安等の周知・啓発

	新規 ／ 継続	名称	内容	実施予定 時期	令和7年度実施 状況（予定含む）
1	継続	広報すみよしへの掲載	1面と見開き面に水害ハザードマップ及びとるべき行動等を掲載	毎年度 (概ね5月号)	出水期前の令和7年5月号に掲載済
2	継続	区ホームページに啓発情報の掲載	次のような内容を掲載 ・現在の大和川の水位情報 ・大和川氾濫等の水害への備え(避難情報、とるべき行動) ・動画による啓発情報 ・地域ごとの浸水想定図	随時情報更新	随時実施予定
3	継続	啓発資料の全戸配布	水害をはじめとした避難行動等の啓発資料の全戸配布を実施	毎年度	防災関連情報についての啓発を検討中 (11月配布予定)
4	継続	浸水想定表示の掲示	第1期・第2期に掲示した浸水想定表示の維持・管理	随時	随時実施予定
5	継続	浸水想定表示プレートの交付	希望者に対して、自宅等のピンポイントの浸水想定深を記載した浸水想定表示プレートを交付	随時	地域の防災訓練で交付するなど随時実施
6	継続	ミニ防災フォーラムの実施	大和川に隣接している5地域(遠里小野・清水丘・山之内・依羅・苅田南)のうち、未実施の地域(山之内・依羅)および希望地域で実施。また、横のつながりを強化するため、地域合同のフォーラムを検討	【令和7～9年度】 各1地域	令和4年度は遠里小野、 令和5年度は清水丘で実施 令和6年度は苅田南で実施 令和7年度は苅田南・山之内で実施

(2) 避難所開設訓練等の実施

	新規／ 継続	名称	内容	実施予定 時期	令和7年度実施 状況（予定含む）
1	継続	避難所開設訓練	浸水が想定される避難所において、避難所開設時の開設手順や避難スペース等について、地域役員等と現地確認を実施	毎年度	随時実施予定
2	継続	避難所開設セットの充実	水害時に開設する避難所（小・中・阪南高校）に配備している、水害時を想定した避難所開設セットを精査し、改訂	【令和4年度】 遠里小野、清水丘、 苅田南、依羅 【令和5年度】 苅田北、山之内、 苅田、南住吉 【令和6年度】 墨江、長居、 東粉浜、住吉	随時実施予定

(3) 備蓄物資の配備等

	新規／ 継続	名称	内容	実施予定 時期	令和7年度実施 状況（予定含む）
	継続	水害時避難ビルへの備蓄物資の配備	配備未実施の水害時避難ビルについて、物資の配備を行うことができるよう、引き続き自治会や管理組合等と協議を行う。 （布担架、簡易トイレ、汚物処理セット、簡易テント）	随時	令和6年度全ての水害時避難ビルに配備完了

令和 7 年度配備予定物資写真（抜粋）

【組み立て式簡易テント】

各避難所に 18 台配備済
令和 7 年度は各避難所に 1～5 台追加
配備予定



【ランタン】

各避難所に 10 台配備済
令和 7 年度各避難所に 2 台追加配備予定



【折り畳みベッド】

各避難所に 18 台配備済
令和 7 年度は各避難所に 1～5 台追加配備予定



【Wi-Fi】

令和 7 年度は各避難所に 1～5 台追加配備予定



災害時避難所 備蓄物資一覧

令和7年4月1日 現在

物資品目		数量			期限			備考
1	アルファ化米 	2 箱	1箱あたり	50食	2027年	6月	末日	個食・炊出し・その他【 粥 】
2	アルファ化米 	1 箱	1箱あたり	50食	2028年	6月	末日	個食 炊出し・その他【 白 】
3	ビスケット 	3 箱	1箱あたり	50食	2027年	3月	末日	
4	液体ミルク 	1 箱	1箱あたり	24本	2026年	4月	末日	
5	保存水 	15 箱	1箱あたり	24本	2028年	3月	末日	
6	保存水 	15 箱	1箱あたり	24本	2029年	3月	末日	
7	保存水 	15 箱	1箱あたり	24本	2033年	8月	末日	
8	保存水 	15 箱	1箱あたり	24本	2035年	5月	末日	
感染対策 物資品目					数量		備考	
9	非接触型体温計【1台：単3電池×2本】 【用途：感染予防のため避難者、スタッフの検温チェックに使用】				2	台		
10	マスク【大人用】 【用途：避難所内の感染予防】				700	枚		
11	マスク【子ども用】 【用途：避難所内の感染予防】				50	枚		
12	フェイスシールド 【用途：避難者受付、特定スタッフの感染予防】				35	枚	※各小・中学校、阪南高等学校以外は25枚	
13	防護服【雨合羽】 【用途：避難者受付、特定スタッフの感染予防】				50	枚		
14	ビニール手袋【使い捨て】 【用途：避難所内の感染予防】				500	双	※各小・中学校、阪南高等学校以外は400双	
15	療養者・特定スタッフ更衣室専用 ゴミ箱【ペダル式】 【用途：療養者室、特定スタッフ更衣室の専用ゴミ箱】				4	個		
16	除菌マット【寸法：0.75m×0.9m】 【用途：避難室、療養者室、特定スタッフ更衣室の出入口に設置】				4	枚		
17	除菌マット用消毒液【1本：4ℓ】 【用途：除菌マット（18）に浸透させて使用】				4	本		
18	手指消毒用アルコール【1缶：17ℓ】 【用途：避難者、スタッフの感染予防】				4	缶		
19	手指消毒用アルコール容器【各小学校：30個】 【用途：手指消毒液用容器】				20	個		
20	手指消毒液補充用ポンプ 【用途：手指消毒用アルコール容器（21）に補充する際に使用】				2	本		
21	ペーパータオル【1箱：100枚】 【用途：感染予防、避難所内の清掃時に使用】				10	箱		
22	液体ハンドソープ【1本：250ml】 【用途：避難所内の感染予防】				7	本		
23	アイソレーションガウン【防護服】 【用途：避難者受付・特定スタッフの感染予防】				44	着	※各小・中学校、阪南高等学校以外は34枚	
24	パルスオキシメータ【血中酸素飽和度測定器】 【用途：血中酸素飽和度を測定】				1	台		
25	CO2モニター 【用途：二酸化炭素の濃度を測定】				2	台		
26	オートディスペンサースタンド 【用途：感染予防のため避難者、スタッフの検温チェックに使用】				1	台		
27	手指消毒用アルコール【1箱1ℓ×12本】 【用途：避難者、スタッフの感染予防】				24	本		

	物資品目	数量	備考
28	立て看板 【災害時避難所・救護所・配給場所・情報コーナー・入所受付】 	1 セット	
29	救助資器材 【バール・のこぎり・ジャッキ・シャベル・ロープ・かけや・布担架・手斧】 	1 式	
30	ヘルメット【折りたたみ式】 	5 個	
31	災害時支援バンダナ 【用途：避難所で支援が必要な方、支援が出来る方の表示】 	30 枚	
32	簡易トイレ【組立て式】 【用途：避難所内のトイレの確保】 	12 基	
33	障がい者用簡易トイレ・テントセット 【用途：お身体が不自由な方のトイレの確保】 	1 セット	※各小学校のみ
34	汚物処理袋セット【1箱：100セット】 【用途：簡易トイレ（32）（33）、既存トイレに使用】 	16 箱	
35	組立て式簡易テント【寸法：2m×2m】 【用途：避難室として使用】 	18 張	
36	簡易式プライベートルーム【寸法：2.1m×2.1m】 【用途：更衣室、授乳室などに使用】 	1 張	※各小・中学校のみ
37	折りたたみ式ベッド【寸法：1.9m×0.65m 耐荷重：100kg】 【用途：お身体が不自由な方のベッドに使用】 	18 台	
38	毛布 【用途：避難者、スタッフの寒さ対策】 	300 枚	
39	エマージェンシーブランケット 【用途：避難者、スタッフの寒さ対策】 	60 枚	
40	エアーマット【空気入れ付き】 	12 枚	
41	コンディションセンサー【1台：CR2032（コイン形）電池×1個】 【用途：避難所内の熱中症対策、講堂等に使用】 	2 台	
42	台車 	1 台	
43	災害用階段避難車【降りる専用】 【用途：歩行困難な方の避難に使用】 	1 台	※各小学校のみ
44	車イス【折りたたみ式】 【用途：お身体の不自由な方・歩行困難な方に使用】 	1 台	※各小・中学校のみ
44	空気入れ 【用途：車イスのタイヤ空気の補充用】 	1 台	※各小・中学校のみ
45	発電機【1台：カセットボンベ2本使用】 【用途：避難所内停電時の電源確保】 	3 台	※小・中学校、阪南高等学校以外は2台
46	エンジンオイル【1本：1ℓ】 【用途：発電機（49）に使用】 	3 本	※各小学校・各中学校・阪南高等学校 以外は1本
47	投光器・投光器用スタンド 【用途：避難所内の明かりの確保】 	4 セット	
48	LEDソーラーライト【電池不要】 【用途：避難所内の明かりの確保】 	8 台	
49	LEDランタン【1台：単1電池×3本】 【用途：避難所内の明かりの確保】 	10 台	
50	ヘッドライト【1台：単3電池×3本】 	4 台	※各小・中学校のみ

	物資品目	数量	備考
51	懐中電灯【1台：単1電池×2～4本】 	20 台	
52	ポータブルテレビ 【用途：被害状況など情報収集】 	1 台	※各小・中学校のみ
53	ラジオ【1台：単3電池×3本】 【用途：被害状況など情報収集】 	10 台	
54	ドラムコードリール【USB端子対応】 	1 台	※各小・中学校のみ
55	ドラムコードリール 	1 台	※各小・中学校のみ
56	特設公衆電話 【用途：避難者が安否を知らせるなど情報手段に使用】 	3 台	※各小・中学校・府立施設のみ
57	卓上ガスコンロ【1台：カセットボンベ1本】 	2 台	
58	ビブス【黄色】 【用途：地域対策本部スタッフが着用】 	10 枚	※各小学校のみ（大空、大領小学校除く）
59	ビブス【橙色】 【用途：避難所運営委員会スタッフが着用】 	10 枚	
60	養生テープ 	30 巻	
61	給水袋【1箱：100袋】  <small>平 大阪市 品 名：飲料給水袋 内容量：100袋 重量：5.4kg 規格寸法：幅550×高さ750×厚さ20mm 製 造 年 月：2021年3月 製造承認年月：2021年3月</small>	1 箱	
62	レジャーシート【寸法：1.8m×0.9m】 【用途：避難者スペースの間仕切りなどに使用】 	140 枚	
63	ブルーシート【寸法：1.8m×1.8m】 【用途：おおよそ1人あたりの避難者スペース】 	50 枚	
64	防水シート【寸法：2.7m×3.6m以上】 	120 枚	
65	巻尺 【用途：避難者スペース作成時の計測に使用】 	2 個	
66	ホワイトボードシート 【用途：被害情報等、時系列での活動記録記載用】 	2 本	
67	PPロープ【材質：ナイロン 1巻：80m】 	2 巻	
68	クリップボード 	10 枚	
69	コンテナボックス 	2 個	
70	ガスボンベ【燃料】 【用途：発電機（49）、卓上ガスコンロ（61）の燃料に使用】 	38 本	※各中学校26本、阪南高等学校32本
71	軍手 	6 双	
72	ゴミ袋 	100 枚	
73	レジ袋 【用途：避難者室は土足厳禁とするため靴袋などに使用】 	500 枚	
74	筆記用具 【鉛筆・消しゴム・はさみ・カッター・マジックセット】 	1 セット	

	物 資 品 目	数 量	備 考
75	用紙【寸法：A4 1箱：500枚×5冊】 【用途：避難所運営で多目的に使用】 	1 箱	
76	用紙【寸法：A3 1箱：500枚×3冊】 【用途：避難所運営で多目的に使用】 	1 箱	
77	救急セット 【用途：避難所内で怪我等の応急手当で使用】 	1 セット	
78	発電機用移動キャスター 【用途：発電機を移動させるために使用】 	1 台	※各中学校・阪南高等学校のみ
79	LED投光器・投光器用スタンド 【用途：避難所内の明かりの確保】 	2 台	

住吉区個別支援プラン進捗状況等

地域名	台帳 登録者数(名)	町会数	個別支援プラン (作成者数)
墨江	411	16町会	
清水丘	262	13町会	全13町会 (262名)
遠里小野	197	10町会	全10町会 (197名)
東粉浜	134	8町会	全8町会 (134名)
住吉	898	27町会	
長居	621	8町会	全8町会 (621名)
依羅	590	7町会	
南住吉	717	16町会	全16町会 (717名)
山之内	466	9町会	全9町会 (466名)
苅田	378	5町会	全5町会 (378名)
苅田南	350	8町会	全8町会 (350名)
苅田北	307	8町会	全8町会 (307名)
合計	5,331	135町会	85/135町会 3,432名 (64.3%)

令和7年4月現在

災害に備えて、マイタイムラインを作成しましょう！

～大雨で大和川の氾濫の危険性があるとき～

1 自宅の浸水想定

自宅の浸水想定 _____ m

自宅が浸水しない場合は自宅で避難しましょう



自宅の浸水想定の確認はここから
(国土交通省/浸水ナビ)



2 避難先

早めの避難先

- 親戚宅・知人宅など (最寄りの浸水しない安全な場所) **避難先①**
- 最寄りの災害時避難所 (最寄りの浸水しない安全な場所) **避難先②**

緊急時に命を守れる場所

- 最寄りの水害時避難ビル、高い建物や高い場所 (最寄りの浸水しない安全な場所) **避難先③**

3 避難するまでにすること

避難の準備

- 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- 必要なものの買い出し
- 家財等の2階以上への移動開始
- 家の周りの点検
- 飛ばされそうなものの片付け
- 窓の施錠の確認
- 携帯電話の充電
- 避難所の開設状況の確認

その他

- _____
- _____

情報収集

- 気象情報・避難情報を確認

連絡・声かけ

- 近所への声かけ
 - 避難の声かけをする
 - 一緒に避難する
- 名前 _____
- 連絡先 _____
- 家族と連絡を取り合う
- 避難の支援者に連絡 (自力では避難が困難な場合)
 - 名前 _____
 - 連絡先 _____



災害時避難所・水害時避難ビルの確認はここから
(住吉区役所ホームページ)



水害ハザードマップ (大和川氾濫時) の確認はここから
(住吉区役所ホームページ)

4 いつ避難を開始するか、いつ何をするか

緊急度

高

大和川における避難情報発令基準水位※と警戒レベル	警戒レベル1 1.5m 早期注意情報	警戒レベル2 3.2m 洪水注意報 大雨注意報	警戒レベル3 4.96m 高齢者等避難	警戒レベル4 5.54m 全員避難	警戒レベル5 6.69m 緊急安全確保
「いつ避難するか」「いつ何をするか」 私と家族 行動	例) 非常持ち出し袋を再確認しておく [お母さん]	例) 避難場所を再確認しておく [みんな]	例) おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する この段階での避難先の目安 避難先①、②	例) ○○小学校へ避難する [お父さんとこどもたち] この段階での避難先の目安 避難先①、②	この段階での避難先の目安 避難先③

※柏原観測基準点における水位

非常持ち出し品を準備しましょう

- 皆さんは災害に備えて、家庭でどのようなものを備蓄していますか？
災害が発生すると、これまでの日常は一変します。
発災当初は区役所や消防による救助、支援が行き届かない可能性があります。
そこで災害発生後の救助や救援物資の到着までに必要となる生活用品を、最低限準備しておきましょう。

災害を
“ジブンゴト”と
捉えましょう！



非常持ち出し品

- 貴重品（現金など）
- 飲料水・非常食（飲料水・缶詰など）
- 救急袋（消毒薬・ガーゼ（滅菌）・常備薬・持病薬・お薬手帳など）
- 衛生用品（マスク・洗剤など）
- 情報・照明（携帯ラジオ・懐中電灯・携帯電話の充電器など）
- 生活用品（簡易トイレ（凝固剤・処理袋）・タオル・ガスボンベ・電池など）



個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

- 必需品・貴重品類（マイナンバーカード・預金通帳・運転免許証・健康保険証・個別支援プランなど）
- 赤ちゃん用品（粉ミルク・哺乳瓶・離乳食・紙おむつ・母子手帳・ベビーカーなど）
- 高齢者用品（着替え・看護用品・おむつなど）



- リュックサックなど、両手が自由に動かせるものに入れておき、いつでもすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。
- 家族構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背負ってみましょう。
また、少なくとも年に一度は点検しましょう。

家庭に備えておくもの

- 飲料水・非常食（飲料水・インスタント食品・レトルト食品・お菓子など）
- 衣類（上着・下着・靴下など）
- その他（ブルーシート・キャリーカート・布製ガムテープなど）
- 生活用品（タオル・毛布・ラップ・新聞紙・簡易トイレ（凝固剤・処理袋）・電池・卓上コンロ・ガスボンベ・携帯電話の充電器など）

- 自分や家族に何が必要なのか、何を備えておくべきなのか、
考えておきましょう。
詳しくは市民防災マニュアルをご確認ください。



市民防災マニュアル
（大阪市ホームページ）

- 避難後に少し余裕がでてから、安全を確認して自宅へ戻り持ち出したり、
自宅で避難生活を送るうえで必要なもので、救援物資が届くまで
3日間（できれば7日間）自足するつもりで備えましょう。
- ふだんから食べなれた常温保存が可能な食品を、
少し多めに買い置きし、非常時に役立てましょう。
- ローリングストックで買い置きをすると、ふだんから食べなれた食品を
「非常食」にすることができます。



もしもの為に、今始めよう /
ぼうさい
大阪防災アプリ



【災害用伝言ダイヤル】

大規模災害発生時、安否等の情報を音声情報を
録音・再生できるボイスメールです。

（使用方法）

171にダイヤル→ガイダンスに従って、
電話番号を市外局番から入力し、
音声を録音または再生



詳しくはこちら
（NTT西日本ホームページ）

家具の固定

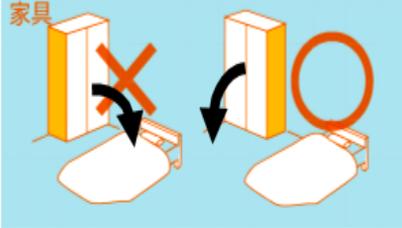
●過去の大地震では、たくさんの人が倒れた家具の下敷きになって、尊い命を失ったり、大けがをしたりしました。家具の転倒防止策を行ったり、家具の配置を工夫して、あなたや家族を守るために、しっかりと地震に備えましょう。



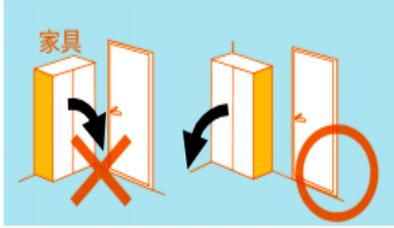
家具類の転倒・落下
・移動防止
対策リーフレット

避難経路の確保【家具の“配置や使用方法”の工夫】

●寝ているところに家具が倒れてこないように家具を移動



●逃げ道をふさがないように家具を移動

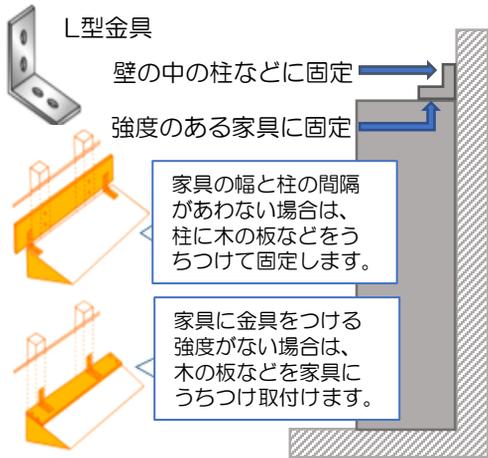


●食器棚の扉のガラスには飛散防止フィルムを貼る

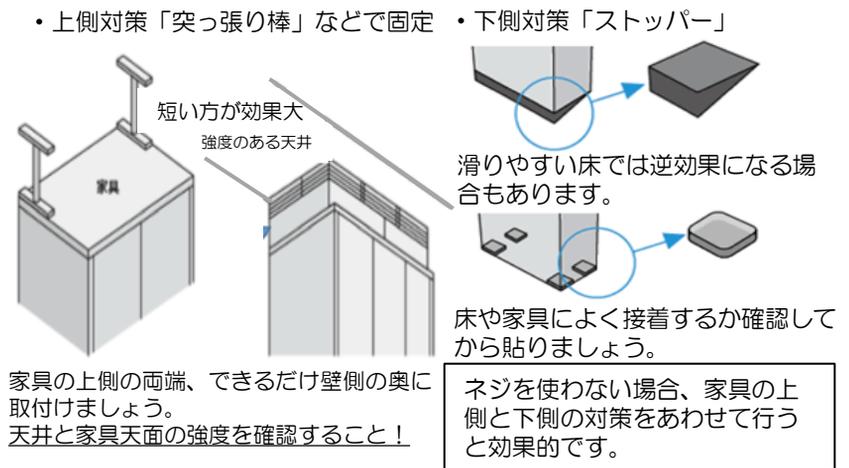
さらに
●重い物は低い位置へ
●棚板にはゴムシート（ビニール系は×）
●開き戸ストッパーを使用するなど、工夫しましょう。



家具の固定【ネジ止めによる固定】



家具の固定【ネジ止めしない固定】



●地震が起きたらどうすべきか。

地震が起きたら

地震発生の行動の基準を身につけておかないと、被害をむやみに拡大することになります。自分や家族の身を守るために、冷静な行動を心掛けましょう。

地震発生

●**落ち着いて自分の体を守る**
家具や天井の下敷きにならないよう、丈夫なもので身体を保護しましょう。



●**火に近づかない**
都市ガスは震度5相当以上で自動的に遮断されます。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。



～3分

●**ラジオ・テレビをつける**
被害情報をできるだけ早く確認しましょう

●**靴・スリッパをはく**
割れたガラス等から足を守るため、靴・スリッパをはきましょう。

●**家族の安全を確認**
けが人が出た場合は、自力や近所の助けを得て病院へ向かうことを考えましょう。

●**火元の確認**
ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。

●**非常持ち出し品の用意**



●**余震に注意**
余震に備えて外に出る場合は、安全な服装で身を守りましょう。

～3時間

●**避難**
火災・建物倒壊等災害の状況に応じて避難しましょう。

●**メモをのこす**
家を離れるときは、目立つ場所に行き先や連絡先の書いたメモを残しましょう。

●**ブロック塀・がれき・倒れかけた家屋等に注意**
余震が発生する可能性があるため、危険な場所へは近づかないようにしましょう。



●**車で逃げない**
道路は緊急車両のために空けておきましょう

～3日

●**水・食料は備蓄でまかなう**
災害から3日間は、家庭での備蓄でまかないましょう。



●**正しい情報を手に入れる**
テレビ・ラジオ等で正しい情報を手に入れましょう。

●**壊れた家には入らない**
応急危険度判定が行われるまでは二次被害を防ぐため、近寄らないようにしましょう。



災害に備えて、マイタイムラインを作成しましょう！

～地震が発生したとき～

住之江区への
津波最短到達時間は
110分後と想定
されています



想定される震度

(住吉区の想定震度)
上町断層帯地震…震度6弱～7
南海トラフ巨大地震…震度6弱

家庭の状況のチェック

避難に支援が必要な人は？
(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)
 いる いない

避難行動の確認

地域の一時避難場所

に集まる



災害時避難所

に避難

一時避難場所、
災害時避難所、
広域避難場所の確認は
ここから



【自宅が無事なら自宅に戻る】

地震に伴う大火災などの危険が
迫った場合
広域避難場所

に避難

経過時間	私と家族の行動	
日ごろの備え	<input type="checkbox"/> 食料は最低3日分、できれば1週間分程度を備蓄 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品（備蓄品など）を準備（リュックなどに入れておく） <input type="checkbox"/> 自宅の耐震性を確認し、必要に応じて改修などを行う <input type="checkbox"/> 新聞・テレビ・インターネットなどで防災の情報を収集 <input type="checkbox"/> 家族内の災害時の連絡方法を確認する <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練に参加 <input type="checkbox"/> 家具の転倒・落下物防止対策をする <input type="checkbox"/> 地震保険に加入 <input type="checkbox"/> 近所の人と協力体制を話し合っておく <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 近所の人と顔の見える関係を作っておく <input type="checkbox"/>	
	地震発生	<p>まずは自分の身を守る</p> <input type="checkbox"/> 身を低くし、頭を守り、動かない <input type="checkbox"/> 丈夫な机の下に避難 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 倒れてくる家具や落下物に注意 <input type="checkbox"/>
初動～避難準備	～3分	<input type="checkbox"/> 落ち着いて状況を把握 <input type="checkbox"/> 家族の安全を確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品（備蓄品など）を用意 <input type="checkbox"/> 余震に注意する <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 家を出るときはブレーカーを切り、 <input type="checkbox"/> 火元の確認 <input type="checkbox"/> ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ドアや窓を開けて逃げ道を確保 <input type="checkbox"/>
	～3時間	<input type="checkbox"/> 地域の一時避難場所に集まる <input type="checkbox"/> 移動の際には、ブロック塀などに近寄らない <input type="checkbox"/> 近所の人との安否を確認 <input type="checkbox"/> 地域でまとまって災害時避難所に避難する <input type="checkbox"/> 自宅の様子が安全であれば、 <input type="checkbox"/> 協力して消火・救出活動を行う 自宅に戻って在宅避難する <input type="checkbox"/>
生活避難	～3日間(避難所)	<input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤル（171）やSNSなどを活用し、無事を知らせる <input type="checkbox"/> 集団生活のルールを守る <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 避難所の運営に積極的に協力する <input type="checkbox"/>

住吉区地域防災リーダーの取組

「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識を持ち、地震・風水害その他の災害による被害を未然に防止、軽減、予防するため、住民同士の助け合いである共助の一環としてボランティアで活動されています。

大規模災害時には、近隣住民の先頭に立って初期消火や救出・救護活動を行うリーダーとして対応できるよう、防災に必要な知識や技術の習得に取り組まれています。



事前意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参 考
1	<p>【備蓄物資について】</p> <p>災害時避難所備蓄物資一覧を確認したところ、おむつや生理用品が備蓄されていないことが見受けられる。これらの用品は、トイレと同様、迅速に必要となるものであり、水道や電気の使用可否に関わらず、災害時に必須とされる物資である。</p> <p>長期保存により劣化しても、全く使用できないということはなく、長期保存していても害はない。また、トイレの汚物処理にも代用できるものであり、<u>災害時避難所におけるおむつや生理用品の備蓄を検討するべきである。</u></p>	<p>現在、住吉区役所の防災倉庫に大人用や子供用、新生児用のおむつを合計で7,450枚、生理用品を2,828枚備蓄しております。</p> <p>これらのおむつや生理用品については、各災害時避難所の備蓄倉庫のスペースが足りないことから、住吉区役所の防災倉庫に備蓄しておりましたが、昨年度に災害時避難所の備蓄倉庫を整理し、スペースを増やすことができたため、<u>今年度より順次、各災害時避難所に配備してまいります。</u></p> <p>また、<u>これらの用品の災害時避難所への配備に加え、各家庭での物資備蓄の重要性についても、周知してまいります。</u></p>	篠原委員
2	<p>【個別支援プランについて】</p> <p>個別支援プランについて、地域による差はあるものの、全体の3分の2近く作成できているという成果は高く評価されるべきであり、この成果は、関係者各位のご尽力によるものと感じている。せつかなので、<u>プランの内容や作成過程、進捗状況等を広く区民の皆さまに知っていただき、さらなる個別支援プランの作成を進めていくために、ホームページや広報紙などで周知してはどうか。</u></p>	<p><u>個別支援プランを含む災害時要援護者支援の取組内容については、住吉区のホームページで公表しております。</u></p> <p><u>また、個別支援プランの進捗状況についても、住吉区のホームページにおける運営方針内で、作成割合の実績を公表しておりますが、今後も区民の皆様が取組内容や状況についてご理解いただけるよう、わかりやすい広報に努めてまいります。</u></p>	篠原委員